
「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)における抗 IL-5 療法薬の変更(中和抗体から受容体抗体)に伴う治療効果調査における後方視的観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

これまでに「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)」と診断を受けており 2025 年 02 月 01 日から 2025 年 07 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院総合診療内科、アレルギーセンターを受診し、定期検査、加療を実施した 20 歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

治療薬剤変更に伴う治療効果の影響を確認します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 10 月 20 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である渥美孝郎および研究分担者小林威仁が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

EGPA と診断された患者さんの中で抗 IL-5 療法薬の変更を行った方の、臨床症状や血液検査（末梢血好酸球数など）の変化をカルテ情報から確認します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 総合診療内科・呼吸器内科 渥美 孝郎（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 総合診療内科・呼吸器内科 （担当者氏名）渥美孝郎・小林威仁

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3 8

電話：049-276-1338（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)における抗 IL-5 療法薬の変更(中和抗体から受容体抗体)に伴う治療効果調査における後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学病院 総合診療内科・呼吸器内科 渥美孝郎・分担者 小林威仁